

菩提寺へ ようこそ

石造文化財の豊庫



鎌倉時代の女性が、
両親をとむらうために
造らせたんだよ



石造多宝塔

菩提寺広域地図 ※JR石部・甲西・野洲駅からバスあり



交通アクセス

- 車をご利用の場合**
- ・名神栗東インターより水口方面へ国道1号を約10km
 - ・名神竜王インターより石部甲西方面へ約5km
- 電車をご利用の場合**
- ・JR琵琶湖線草津駅乗り換え、JR草津線石部駅・甲西駅で下車、コミュニティバスあり



菩提寺歴史散策 モデルコース

全行程:約6km

所要時間:約2時間



菩提寺まちづくり
センター

1 砂防碑

10分

2 山ノ神古墳

5分

3 八王子神社

4 阿弥陀院

10分

5 正念寺

5分

6 齋神社

10分

7 西應寺

5分

8 和田神社

5分

9 菩提禅寺

5分

10 石造多宝塔

11 三体地藏尊像

12 石造閻魔像

15分

13 磨崖の五輪塔

15分

14 寺屋敷古墳群

20分

菩提寺コミュニティ
センター





菩提寺歴史散策マップ

菩提寺 PA
🍴
🚗

甲賀坂道
至希望が丘南口

菩提寺北小学校

笹尾ヶ岳

八重谷

名神高速道路

至竜王IC

大山川

コンビニ

至竜王IC

コンビニ

スーパー

トイレ

駐車場

めぐるくん
バス停

郵便局

駐在所

まちづくりセンター
菩提寺歴史文化資料室

1 砂防碑

2 山ノ神古墳

3 八王子神社

A 缶子塚古墳

7 西應寺

菩提寺小学校

銀行

4 阿弥陀院

鎮守社

稲荷神社

社

ヤマモモの大木

5 正念寺

6 齋神社

シダレザクラ

高田砂川

9 菩提禅寺

コンビニ

菩提寺コミュニティ
センター

至水口

国道 1 号

中都橋

B 井上嘉吉翁顕彰碑

野洲川

至石部



1 砂防碑(梵兮葱兮の碑)

梵兮葱兮とは、ハゲ山が青くなったという意味です。木材の乱伐で荒れ果てた山が、明治16年から村人総出で植樹したおかげで青々とした山となり、それまで度々あった山崩れがなくなりました。それを記念して大正12年に建てられました。



3 八王子神社

少菩提寺の表鬼門を護るために作られた神社です。参道入り口には、欄干と板橋が一つの石でできた橋と、六角形の柱の鳥居があり、どちらも珍しいものです。境内には、国指定美術工芸品の石燈籠があり、裏山には市指定文化財の七重の石塔が建っています。



5 正念寺

石山本願寺の教如上人直筆の書状を含む「紙本墨書教如上人等書状」(市指定文化財)を所蔵しています。境内には、親鸞聖人修業像、教如上人御旧跡碑や松尾芭蕉らの句碑があります。

TEL 0748-74-2791



7 西應寺

少菩提寺の有様を知ることのできる唯一の古絵図「円満山少菩提寺四至封疆之絵図」が残されています。市指定文化財の木造阿弥陀如来立像が本尊です。菩提寺山を借景とした枯山水の庭が有名で、良弁が瞑想したとされる禪定岩など見どころの多いお寺です。

TEL 0748-74-1051



9 菩提提寺

国指定重要文化財の木造阿弥陀如来立像(慈覚大師円仁作)が本尊です。櫓の寄木作りで漆箔で仕上げられ、藤原時代の特徴をよく表した美しい姿をされています。境内には、永正十六年(1519)の銘がある石地藏(市指定文化財)があります。

TEL 0748-74-1035



11 三体地藏尊像

人の背丈ほどの石地藏が3体並んでいます。真中のお地藏さんは鎌倉時代で作で、頭笠をかぶった珍しいお姿です。左右のお地藏さんは南北朝時代の作です。



13 磨崖の五輪塔

石造閻魔像の前の道を山へ向かって進むと、「歴史の小径」の終点近くに五輪塔を彫った大きな岩があります。この辺りからの眺望はすばらしく、石部の町並みが一望できます。



2 山ノ神古墳

平安時代の征夷大将軍・坂上田村麻呂の父である**刈田麻呂**の墓と伝わる古墳です。祖父、犬養のお墓と言われる**缶子塚古墳**がありますが、今はその跡に「南無阿弥陀仏」の六字名号碑が建っています(現北山台三丁目)。



4 阿弥陀院

もとは少菩提寺三十七坊の一つで、元亀元年(1570)の兵火で少菩提寺と共に焼失し、薬師堂のあった現在地に阿弥陀如来を本尊として再建されました。境内には、石地藏を祀った地藏堂があります。



6 齋神社

少菩提寺の守護神三社のうちの一つです。元亀元年の兵火で焼失してしまいましたが、1728年に再建され、今は菩提寺東の氏神様です。三重県からハゲシバリ苗のお札に贈られた**藤兵衛桜**(しだれ桜)は、毎年春には美しい花を咲かせます。



8 和田神社

少菩提寺の裏鬼門封じの神社で、当初は祇園天王社として創建されましたが、1767年に谷城の西城があった現在地に移り、明治になって、和田神社と名前が改められました。神社のまわりには、井戸や大堀切など谷城の跡が残っています。



10 石造多宝塔

国の重要文化財に指定されています。塔の高さ448cmの大塔で、仁治二年(1241)の銘があり、銘のある石造多宝塔としては**日本最古**のものです。随筆家・白洲正子が、「この多宝塔は菩提寺山を借景に、いい味に風化していて素晴らしい」と賞讃しています。



12 石造閻魔像

高さ160cmほどの将棋の駒形の石に、閻魔像を中心にしてその左右と下に、阿弥陀仏、地藏、僧形が彫られています。延長二年(924)の作で、地元では「**血噴きの閻魔さん**」あるいは「**血噴き地藏**」と呼ばれています。この辺り一帯は、国指定の史跡です。

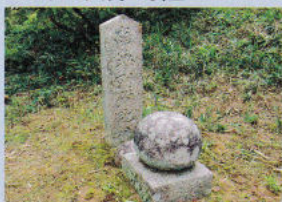


14 寺屋敷古墳群

「歴史の小径」の途中で右折して標識に従って進むと、寺屋敷古墳群の一つ**横穴式古墳**があります。この地を開拓した、甲賀の村主(坂上田村麻呂の先祖)の一族の墓と考えられています。ここより西にあった龍王山古墳群は、工場誘致により整地され、復元された古墳がありますが、今のところ道が整備されていません。

〈少し離れた場所にある墳墓、石碑、滝など〉

A 缶子塚古墳 坂上犬養の墳墓



B 井上嘉吉翁顕彰碑



C 婦人会開墾田碑



D 龍王山古墳群 復元古墳



E 霧降の滝

